

	4 月：国際インターンシップについての説明会に参加する。 5 月中旬：参加プログラムを主催する会社に直接申し込みをする。 申し込み及びプログラム費用の支払いを確認した後、インターンシップ受け入れ先の調整を始める。 〔科目担当者がまとめて履修登録〕 6 月～7 月：事前指導（安全対策、ビザ、保険などの手続きを含む） 8 月～9 月：海外渡航：国際インターンシップ実践 10 月：帰国報告会
テキスト	必要に応じて教材を担当者が準備する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	インターンシップ中にオンラインで提出するジャーナルにはコメントをつけて返却する。 事前指導での態度については口頭でコメントをする。 報告会での発表には、口頭でコメントをする。
学生へのメッセージ・コメント	海外で働くためには、できるだけ英語コミュニケーション能力を高めて渡航することが必要です。 しっかり英語で自分の考えを伝えられるよう練習をしてください。また、自分が渡航する国の文化や社会について十分に調べて理解を深めてください。異文化で働き生活をする際には自分の常識が通用しないことがあります。現地の人たちとしっかりコミュニケーションを取りながら現地の習慣や考え方を柔軟に取り入れることができるように準備しておきましょう。